

授業科目名 (英文名)	数学科指導法 (Method of teaching Mathematics IV)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	4年次・前期集中
担当教員	松本 有史	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>数学教員の使命は、文化遺産を後世に伝えるとともに、生徒たちの個性を尊重しその能力を伸ばすことである。この目標を達成するための教員に求められる資質・能力を総合的に研究する。</p>		
講義内容・授業計画	<p>数学教員に求められるものは、教科の専門性にプラスして、生徒たちの状況や社会の要請に対しての柔軟な対応力である。そのためには教員が自らの思いを生徒や保護者等の地域の人々に的確に伝えることが必要である。そのヒントを得るための実践的な演習を行う。</p> <p>第1回～5回、主に以下の内容を中心にスピーチ・討論を行う。</p> <p>第1回：最初の授業の大切さ 第2回：どんな授業をしたいのか 第3回：授業の中で生徒に何を求めるのか 第4回：生徒との暖かい関係づくりをするためには 第5回：授業準備に必要なものは</p> <p>第6回～10回、主に以下の内容に留意しながら、模擬授業とその後の相互評価を行う。</p> <p>第6回：授業の展開・流れ 第7回：板書や発問 第8回：生徒をひきつける工夫 第9回：教材・教具等の工夫 第10回：発展性があるか</p> <p>第11回～15回、主に以下の内容で受講生同士での模擬面接を行う。</p> <p>第11回：数学教員として必要な資質とは 第12回：どのようにして生徒の状況を把握し、生徒の思いを理解するか 第13回：生徒の活動にどのように参加するか 第14回：保護者・地域との関係をどのようにつくっていくか 第15回：職場の中で同僚・上司とどのように接するか</p>		
テキスト	特に指定しない。適宜資料を配布する。		
参考文献	中学校・高等学校の数学教科書		
成績評価の基準・方法	出席状況、授業に対する姿勢を総合的に評価する。特に、積極性や他の受講生の発言に対する傾聴度を重視する。		
履修上の注意・履修要件	<p>教育実習の修了済み者を想定している。</p> <p>当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考			